

はじめに



現在、我が国では、人口減少・超高齢化がますます加速しており、様々な分野に影響を与えることが予測されております。

高度経済成長期に整備したインフラの老朽化や地球環境問題などの複合する難しい課題に的確に対応しながら、都市の活力の維持、一層の発展を目指していかなければなりません。

このようなことから、「水戸市第6次総合計画一みと魁プラン一」において、都市空間整備の基本的な考え方として「魅力・活力集積型 スマート・エコシティ」の構築を掲げ、これまでの拡散型の開発志向から、集積型の持続可能な都市構造への転換を図り、コンパクトなまちを展望した住む人に優しいスマートでエコな先進都市づくりを推進していくこととしました。

この都市づくりを実現するためには、過度に自家用車に依存するライフスタイルを見直し、人と環境にやさしい交通体系の確立に向け、公共交通や自転車を利用しやすい環境整備とともに、その利用促進に資する政策を総合的かつ戦略的に展開することが必要です。

そのため、本市では、「自転車に乗ってみたいくなるまちづくり」を目指す姿と定め、安全で快適な自転車通行空間のあり方や自転車利活用の手法等について、様々な検討を進め、それらを「水戸市自転車活用推進計画」として取りまとめました。

本計画の策定に当たりましては、水戸市自転車利用環境整備審議会において活発な御議論をいただくとともに、意見公募手続において、広く市民の皆様からの多くの御意見をいただきました。皆様に心から厚くお礼申し上げます。

本計画に位置付けた施策の実施に際しましては、市民の皆様や関係行政機関の御理解と御協力が不可欠となります。安全で快適な自転車通行空間を整備し、自転車の利便性や歩行者の安全性の向上を図ることで、本市の魅力と活力をより一層高めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。

令和3年12月

水戸市長 高橋 靖